



# 簡単片手キーボード・マウス付 取扱説明書

(携帯入力で使用する場合) 2017/01/06 改訂

品番 KKBOX55S



## 【ご案内】

本ソフトウェアでは、入力モードとして、「ローマ字入力」「携帯入力」「英字入力」の動作を含んでいますが、本製品「KKBOX55K」では、「携帯入力」と「英字入力」をサポートしています。ここではこの2方式について説明します。ローマ字入力をお使いの場合は「KKBOX55S」(ローマ字入力)の取扱説明書をご覧ください。

全ての梱包を解いて最初にご確認下さい。

セ	テンキーマウス NT-MA1 (サンワサプライ製)・・・1式
ツ	簡単キー55 サポートCD-ROM・・・1枚
ト	簡単キー55 スタートガイド・・・・・・・・・・1冊
内	キートップラベル見本・・・・・・・・・・4枚
容	

付属のキートップラベルを貼ったところ

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は上記販売店のHPに掲示しています。

## PICO はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品をご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読み下さい。

## PICO 動作環境

対応機種・OS：  
Windows搭載 (DOS/V) パソコン Windows10, 8.1, 7, Vista, XP (SP1以降)

## PICO 本製品の特長

文字/数字/記号/機能の入力切り替えがキー入力あるいは、マウスで簡単にできます。  
規則的な覚えやすい15キーの文字キー配列です。

携帯電話と同じように仮名入力ができます。(携帯入力モード)  
パソコンと同じようにローマ字入力もできます。(ローマ字入力モード)  
パソコン画面にわかりやすい入力ガイドを表示できます。(キーマップ)  
ガイド画面(キーマップ)を見て、パソコンの全てのキー機能が入力できます。  
ガイド画面(キーマップ)をテンキーマウスでクリックすると、キー機能が入力できます。  
カスタムモードでは、キー設定をカスタマイズすることができます。  
必要に応じて、キー入力に対応する音声出力での入力確認をすることができます。

本製品に付属していますサンワサプライ株式会社の「テンキーマウス NT-MA1 取扱説明書」の「取扱上のご注意」もご一読下さい。

## 接続の手順

コンピュータの電源を入れます。Windows 等のOSが完全に起動してから、本製品をコンピュータのUSBポートに接続します。本製品をコンピュータのUSBポートに接続すると自動的に認識されます。(Windowsの場合) タスクトレイ(デスクトップの右下)に接続完了のメッセージが表示されます。以上で接続完了です。

## ソフトウェアのインストールと使用までの準備

本製品では、専用のプログラムをインストールして使用します。プログラムのインストールを始める前に次の事項をご確認下さい。

パソコンのOSが本製品がサポートする種類、Versionであるか確認して下さい。

プログラムをインストールするCD-ROMドライブがあること。無い場合は一時的にUSB端子から接続して使える外付けのCDドライブを用意して下さい。

インストールは「管理者権限モード」で行う必要があります。

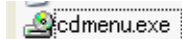
### インストールの手順

OSが正しく立上っていることを確認して下さい。他の作業をしている場合は一旦そのプログラムを停止させて下さい。

CDドライブに添付のプログラムCDを挿入して下さい。

CDが読取られ、インストール画面が立ち上がります。

自動的にインストールのメニューが立ち上がらない時は、エクスプローラでCD-ROM内のファイル

 をクリックして下さい。

### インストール開始前に

インストールメニュー画面に、「利用規約」が表示されています。ご確認頂き操作を開始して下さい。インストール開始と同時にお客様はこの「利用規約」を承諾したものとみなします。





簡単キー55ソフトウェアインストール  
マウス付キーボード **kkbox55s**

簡単キー55スタートガイド  
簡単キー55ソフトをインストール  
DTechTalkerを起動  
マウス付片手キーボード取扱説明書  
文字入力操作の説明  
DTechTalkerソフト説明書  
キートップラベルの印刷  
閉じる(C)

利用規約

1. 本ソフトウェアの著作権は「デジタル技研」に所属します。
2. お客様は、所定のライセンスキーにより、1台のパソコンに限り本ソフトウェアをインストールし使用できます。
3. 本ソフトウェアの使用によって生じたいかなる責任も、お客様自身に帰します。

お客様は、本ソフトウェアのインストールを開始した時をもって上記利用規約を承諾したものとみなします。

メニューから「簡単キー55ソフトをインストール」をクリックする。  
 画面の案内する手順に沿って操作して下さい。 プログラムは自動的にインストールされます。  
 「音声応答ソフト (Dtech Talker)」を使用する場合は起動させて下さい(任意)  
 タスクトレイにアイコン  が表示されます。  
 続いて、各種説明書等を必要により参照・印刷して下さい。  
 インストールが終わったらCD-ROMを取り出して下さい。  
 パソコンを再起動して下さい。待受け画面に「簡単キー55のアイコン」  が出来ています。  
 これでインストールが完了しました。 簡単キーを使う時は、このスタートアイコンをクリックして下さい。

## ライセンスキーの登録

始めて「簡単キー55」のソフトウェアを起動した時にライセンスキーの登録画面が表示されます。この時、印刷されて添付された「簡単キー55スタートガイド」に記載されている「ライセンスキー(半角英数字)」を入力して登録して下さい。

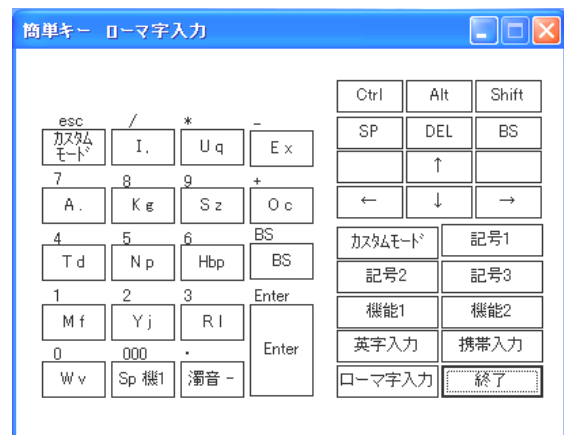
## 簡単キー55の動作開始




正常に認証されると「簡単キー55」がスタートし、キーマップの画面が立上がります。この画面で表示されるキーをマウスでクリックしても、簡単キーでボタンを押したのと同じ動作で入力することが出来ます。表示が不要の時は、「最小化」ボタンを押しておいて下さい。




### キーマップ

マウスで画面上のキーをクリックしても、キーを押したと同じ入力出来ます。

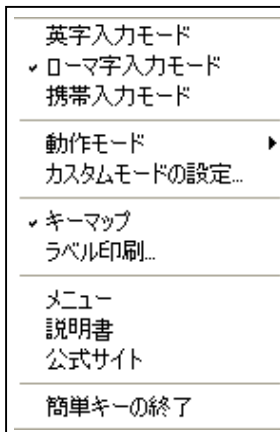
もし、キーマップが表示されない場合は、下記のアイコン「R」「K」「E」のいずれかを右クリックして表示されるメニューの中の「キーマップ」をクリックすると表示されます。(下図参照)



簡単キーが立上がると、右下のタスクトレイ(タスクバー通知領域)に    のいずれかの表示がされます。(Windows OSのVersionによって多少形は違うかも知れませんが)これは簡単キー55の入力モードを示しています。

-  : 携帯入力モード      テンキーを使って携帯電話と同じ要領で入力します。(説明省略)
-  : ローマ字入力モード      日本語をローマ字入力で入力します。このモードをお使いになる場合には別途「ローマ字入力手順書」を参照して下さい。(オプション)
-  : 英字入力モード      英字のみを入力するモード

タスクトレイのこのアイコンを右クリックすると、下記の操作メニュー表示が出ます。ここでも、「入力モード」や「動作モード」を選択できます。 デフォルトの動作モードは本プログラムでは「簡単キー 5 5 S」です。



入力動作モードを選択できます。 ローマ字入力モードが推奨

動作モードは「簡単キー 5 5 S」を選択（初期値）

キーマップを表示するにチェック 不要時ははチェックを外す。

簡単キーを終了する時。

パソコンの入力環境の設定をチェックしましょう。

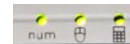
パソコンの入力モードは、入力のプロパティ 入力設定 ローマ字入力 を選択して下さい。

パソコンの入力IMEトレイの入力は「ひらがな」を選択しておきます。（入力の文字により適宜「直接入力」等を選択します。）

必要により、添付のキートップラベルを切取り、キートップに貼って下さい。

キーボードの設定

キーボードに表示されるランプは下図の様に3灯共に点灯する状態にして下さい。



設定は、「NumLock」キーと、キーボード左側面にある「Mode Switch」ボタンを押して行います。

これで「簡単キー」を使う準備が完了しました。

## マウス付片手キーボードのキー配置と入力操作



付属のキートップラベルを貼った状態

### キートップの表示の見方

**あ**：赤字のキー（基本文字）




五十音の文字が入力できる基本文字

：日本語の濁音・半濁音の入力

基本キーの後で「ピリオドキー」を1回押すと、濁音（がざだば行）に、2回押すと半濁音（ぱ行）になります。


**. Q**：ピリオド+打鍵で入力

ピリオド(.)を押して、続いてそのキーの打鍵で入力出来る事を示す。

  ：特殊キーで入力  
特殊キーを押した後で更に「ピリオド」を1～3回押して、続いてそのキーを打鍵して入力出来る事を示す（記号等の入力）

## 1. 使い方の基本ルール


### 日本語入力

**あかさたなはまやらわ** 行内の各文字は、その行頭のキーを所定回数押打することで出現します。希望の文字が出たら、 (区切キー) を押して指定します。



(行内では自動で遷移しませんから、区切りを押します。他の行の文字を出す時は自動で遷移します。)

### 濁音・半濁音の入力


**がざだば** 行(濁音)は、希望の清音の文字を入力した後で、 を **1回** 押すと濁音に変わります。

**ばびぶべぼ** 行(半濁音)は、希望の清音の文字を入力した後で、 を **2回** 押すと半濁音に変わります。

### アルファベットの入力

タスクトレイのアイコン  を、マウスで右クリックして英字入力を左ボタンでクリックすると「英字入力モード」になります。タスクトレイのアイコンが  に変わります。(パソコンの入力モードを操作して「半角英数字」にしても良い)

**A I U E O K S T N H M Y R W** は直接該当キーを押して入力できます。

**B C D F G J L P Q V X Z** は直前に  キーを1度押してから該当キーを押します。

### 【特殊機能キー】について(重要)




(機能切替)




(ページ切替)

(特殊キー)

「 **機能選択**」キーは、キーの機能の切替を行い、このキーを押す毎に「携帯入力」「数字入力」「ファンクションキー」「カーソルキー」に切り替わります。一つの文字入力又は機能動作が終わると元の文字入力(携帯入力)に戻ります。

(特殊キー)

「 **濁音・記号・ピリオド(.)**」キーは、文字入力のキー割付(ページ)を切替えます。アルファベット入力では、1度ピリオドキーを押すとキー割付文字は、**A I U E O K S T N H M Y R W** から **B C D F G J L P Q V X Z** に変わります。又、記号入力では、3ページにわたるの入力文字の切替を行います。

### 記号の入力

記号キーに切り替えるには、「スペース(SP)」+「ピリオド(.)」を押します。記号は3ステージに分かれていて、続いて「ピリオド(.)」キーを押して切替えることが出来ます。



.(特殊キー+ピリオド1回)

/ \* > ' ¥ @ ; : 「」等の入力へ



.. (特殊キー+ピリオド2回)

= ~ | \_ ^ { , } ? 等の入力へ



...(特殊キー+ピリオド3回)

' ( ) & % & ! " # > 等の入力へ



## 数字キー

(機能選択) (特殊キー) **数字 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 が有効**

この操作では、一文字入力すると入力モードはローマ字入力(文字入力)に戻ってしまいます。連続して数値を入力する場合は、「4.英数字類の入力」で記載する方法によって下さい。

## ファンクションキー(F7 F8 F9 F10 等)の利用

(機能選択) (機能切替キー 2回) **F 7 F 8 F 9 F 10 が有効**

「機能切替キー」を2回押すとファンクションキーが有効になります、

F 7 : ひらかな カタカナ変換に使用

F 8 : 半角変換に使用

F 9 : 全角変換に使用

F 10 : 大文字、小文字変換に使用

## 機能キー(カーソルキー、BS, Del End Home 等)の使用

(機能選択) (機能選択) (機能選択) スペース3回) **カーソルキー ( , , , ) BS, Del End Home 等**

機能キーを使うには、「機能切替キー」を3回押すことで有効になります。又は、「Num Lock」キーを押しても有効になります。

**【注】** 特殊機能キーで設定した動作モードは、一度文字入力が完了すると元の状態(文字入力状態)に戻ります。

## 日本語入力操作の方法

実際のアプリケーション(例えばメールなど)の日本語入力モードに入ります。  
IMEの入力モードは「ローマ字かな入力」、「ひらかな」にセットしておきます。  
文字毎の入力手順は別紙「KKBOX55Sの文字入力のキー操作」を参照して下さい。

ここでは簡単な日本語入力の事例について、練習してみましょう。

### 入力文の事例

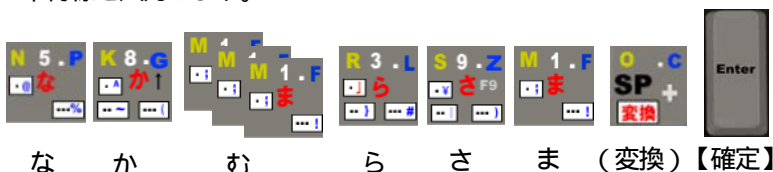
中村様

おはようございます。

最近新しい「マウス付片手キーボード(KKBOX55K)」なるものを、手に入れました。

この文例について、簡単キーで入力するキーの手順を追ってみましょう。

マウスで記入したい文書面の位置にカーソルを置きます。  
中村様を入力します。

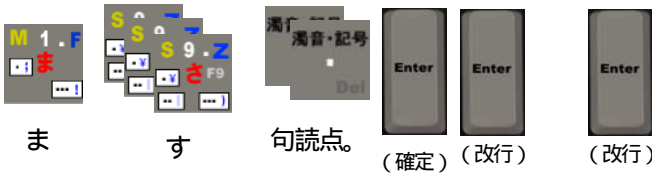
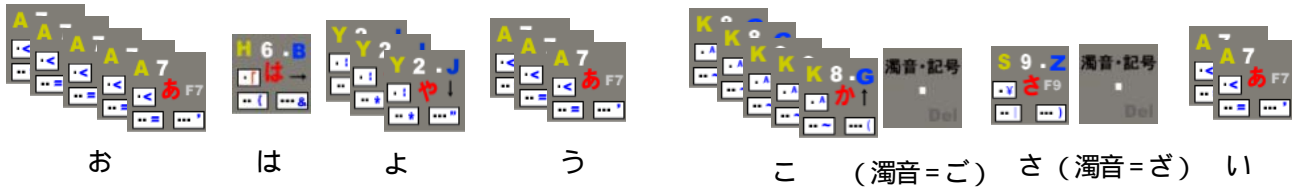


### ヒント

パソコンの画面に表示される「キーマップ」のボタンをクリックしても同じ動作をするので、ボタン操作が複雑な時はキーマップをクリックした方が楽。適宜使い分けて下さい。

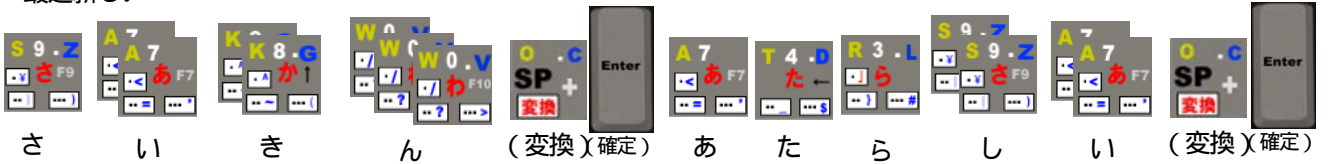


おはようございます。



**ヒント**  
日本語の「濁音(が、ざ、だ、ば行)」は、その文字の直後に濁音・記号を1回押す。

最近新しい

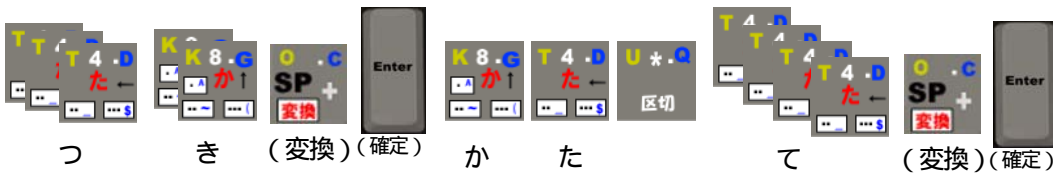


**ヒント**  
文節毎に SP + Enter 確定する。

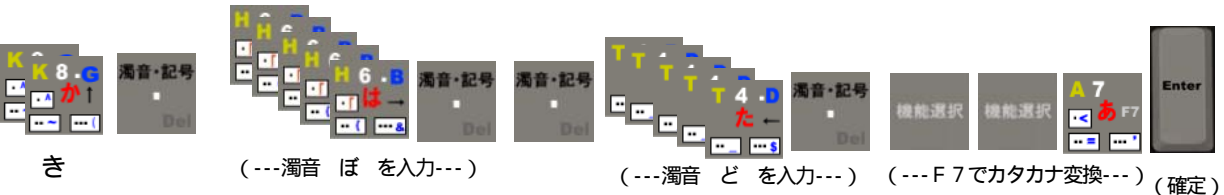
「マウス付片手キーボード (KKBOX55K)」なるものを、



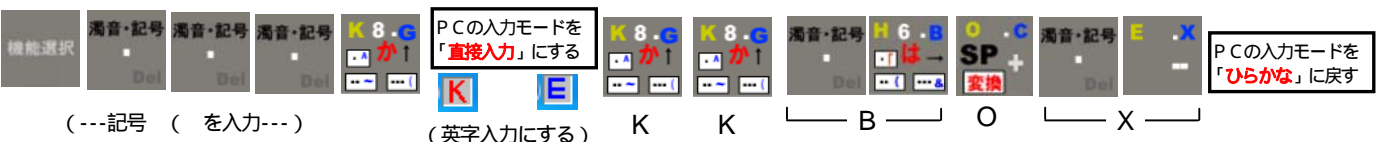
「マウス



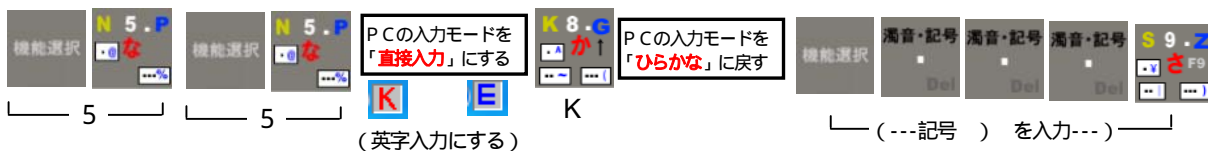
付片手



キーボード

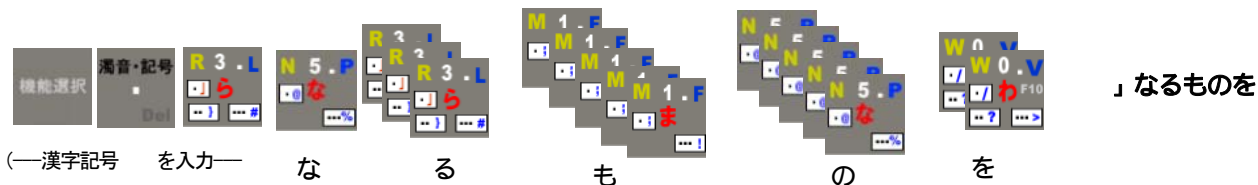


(KKBOX

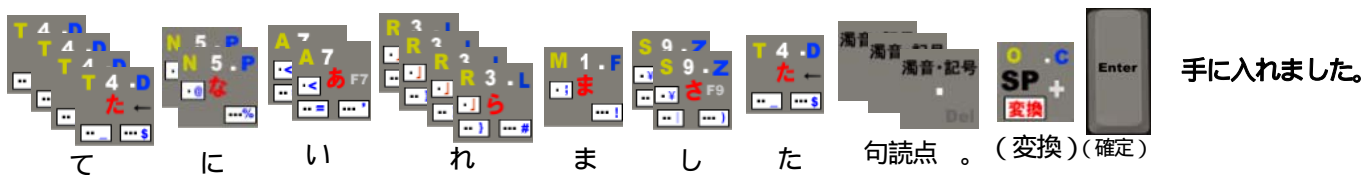


5 5 S)

**ヒント**  
カタカナや記号は、パソコンの辞書機能で表示される語句の中から選択の方が簡単。



手に入れました。



**まとめ**

- (1) 濁音は直後に「濁音・記号・ピリオドキー」を1度押す(が ざ だ ば行)
- (2) 半濁音は直後に「濁音・記号・ピリオドキー」を2度押す(ぱ ぴ ぷ ぺ ぼ)
- (3) 文節毎に変換 (=SP) 確定 (Enter) する。
- (4) カタカナは、特殊キー (機能切替キー) を2回押して「あ」 = F7 で変換する。
- (5) アルファベットはPCを「直接入力」にする。
- (6) 数値は、PCの「Esc」キーを押して切替る。日本語に戻る時も「Esc」キーを押す。
- (7) 漢字記号(、 。 - (長音) ・(中点))は「濁音・記号」キーから出す。

文字毎の詳細い入力キー操作は、別紙「KKBOX55 Kの文字入力のキー操作」を参照して下さい。  
よく使う単語や文章列はOSの辞書機能で登録して利用することをお勧めします。  
(例) 「よろしくお願ひ致します。」を「よ」で辞書登録しておく。

**数字、数字記号の入力操作の方法**

IMEの入力モードを「直接入力(半角英数字)」にセットします。

PCの「Esc」キーを押すと、数値、数値記号(\* / . + -等)の入力できます。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 000 / \* - + .(ピリオド) ,(コンマ)

文字入力に戻る場合もPCの「Esc」キーを押し、IMEの入力モードを「ひらがな」にします。

**カーソルキー、機能キー(BS,DEL,Ins)の操作方法**

文字入力の状態から、機能選択キー(機能選択キー)を3回押すとカーソルキー、機能キー(BS, Del, Ins、Home、End、PgUp、PgDn等)が有効になります。



## 半角記号、その他の特殊文字の入力操作方法

半角記号は、3ページに渡り各キーに割り付けられています。入力には特殊キー（機能選択キー）に続いてページ切替キー「ピリオド」を必要回押して、その後目的のキーを押して入力します。

（特殊キー）



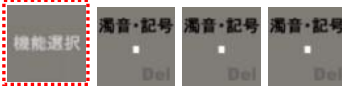
1ページ目 / \* < ' ¥ + \ @ ; :

（特殊キー）



2ページ目 = ~ | \_ ^ { + \* } ?

（特殊キー）



3ページ目 ' ( ) \$ % & ! " # >

**文字毎の詳細い入力キー操作は、別紙「KKBOX55 Kの文字入力のキー操作」を参照して下さい。**

## 簡単キー55 ソフトの終了

簡単キーソフトを終了するには、「キーマップ」の「終了」又は、タスクトレイの中の「R」「K」「E」いずれかのアイコンを右クリックして表示される「簡単キーの終了」をクリックして下さい。続いて表示される「簡単キーの終了 よろしいですか?」の確認の「はい」をクリックして下さい。これで動作を終了します。

## 簡単キー55 ソフトのアンインストール

簡単キーソフトをアンインストールする場合は、Windows のコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から行って下さい。

## 保証規定

1. キーボード本体の保証については、別紙サンワサプライ株式会社の「テンキーマウス NT-MA1」の包装箱の記載をお読み下さい。

## ソフトウェア開発元：デジタル技研

所在地 〒643-0007 和歌山県有田郡湯浅町吉川718  
電 話 0737-23-7172  
メール [info@d-tech.jp](mailto:info@d-tech.jp)  
H P <http://www.d-tech.jp>  
代表者 北村 拓郎

## 企画・販売元：NPO法人PICO（特定非営利活動法人）

所在地 〒470-0114 愛知県日進市南ヶ丘1-9-6  
電 話 0561-72-1925  
メール [info2@npo-pico.com](mailto:info2@npo-pico.com)  
H P <http://www.npo-pico.com>